

医 誰もが安心して住み続けられる優しいまちづくり

こども発達支援施設運営事業費 47,412千円
旧綾部幼稚園施設を活用して、児童発達支援や放課後等デイサービスなどの機能を一元的に備えたこども発達支援施設の運営を開始

綾部ひまわり共同保育園整備事業補助金 253,286千円

小児予防接種事業費 77,267千円

予防接種事業費 41,269千円

高齢者インフルエンザや高齢者用肺炎球菌ワクチンの定期接種等に加え、新たに带状疱疹の定期接種を実施

里山エリアはぐくみ事業費 1,100千円

職 ものづくり産業を振興し、雇用の場と人材の確保

黒谷和紙拠点施設整備事業費 35,882千円

無形文化財である黒谷和紙の生産施設と体験機能を持つ新拠点施設（黒谷町）の整備に着手

スマート農林水産業実装チャレンジ事業費 10,575千円

販売促進キャンペーン事業費 60,000千円

地域観光資源活性化支援事業費 9,686千円＝写真①

山家地区のカヌー乗艇場を中心とした地域の活性化を図るため、地域おこし協力隊を配置

タクシー運行維持確保事業費補助金 11,066千円

住 環境に優しく、安全安心で元気なまちづくり

西部地域振興支援センター管理運営費

4,490千円＝写真②

西部地域消防防災拠点施設管理運営費 2,886千円

西部地域の行政サービスや利便性の向上および地域防災力の強化を図るため、新たに西部地域振興支援センターと西部地域消防防災拠点施設の運営を開始

防犯カメラ設置事業費補助金 6,500千円

自治会女性活躍促進事業費 247千円

国際交流事業費 1,012千円

都市公園整備事業費 28,693千円

東綾公園（川糸町）を新都市公園「あやパーク」の駐車場として整備

住宅用太陽光発電システム等設置補助事業費

4,800千円

公共施設のLED化推進 38,209千円



教育
情報発信

次世代を担う子どもたちを育み豊かな社会をつくる
市制施行75周年を祝う
EXPO2025大阪・関西万博を契機に綾部ファンを増やす

学びに向かう力育成研究事業費 1,050千円

あやべっ子英語未来プロジェクト事業費 2,675千円

小規模特認校導入事業費 900千円

小規模校の特色を生かした教育の充実と活性化のため、令和8年度の導入に向けた制度周知等を実施

総合運動公園改修事業費 151,162千円

近世史料調査費 3,146千円

市制施行75周年記念事業費 1,510千円

市制施行75周年を祝して、記念式典・功労者等表彰式・市民栄誉賞贈呈式を開催

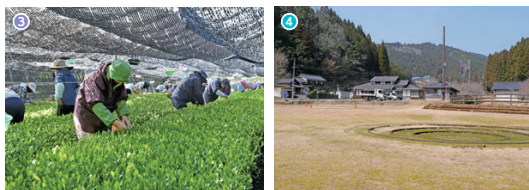
市制施行75周年協賛事業補助金 4,000千円

市議会設立75周年記念事業費 40千円

EXPO2025 大阪・関西万博 綾部の茶PR事業費
2,400千円＝写真③

伝統産業万博出展事業費 1,191千円

着地型観光推進事業費 2,180千円



防災・減災 大規模災害に備えた緊急時対応と予防対策

トイレトラック整備事業費 27,437千円

大規模災害時に避難所等の衛生環境を確保するため、トイレトラックを整備

原子力災害避難ヘリポート整備事業費

13,156千円＝写真④

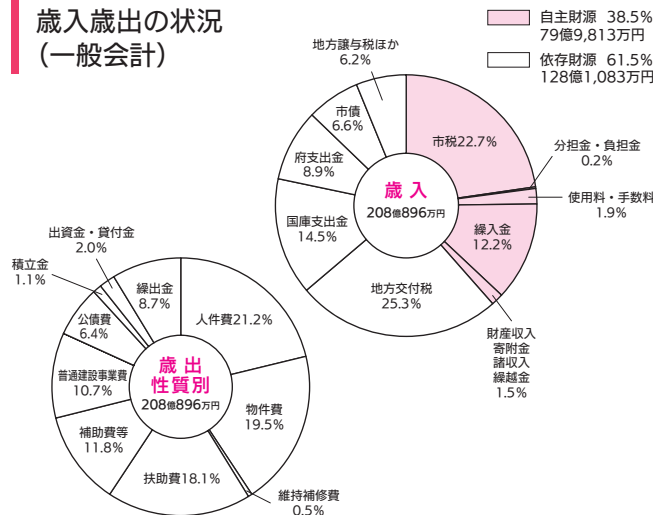
地震による原子力災害等に備え、中型ヘリコプターが離着陸するヘリポートを陸寄町に整備

木造住宅耐震診断士派遣事業費 2,765千円

木造住宅耐震改修費補助事業費 25,700千円

犀川改修関連整備事業費 20,000千円

歳入歳出の状況
(一般会計)



令和6年度へ前倒した事業
(令和6年度3月補正予算)

(一般会計)	
出産・子育て応援事業費	1,216千円
橋りょう長寿命化対策事業費	4,500千円
拠点避難所等資機材整備事業費	54,228千円
(上水道事業会計)	
中央監視操作施設更新実施設計業務	16,478千円
(下水道事業会計)	
農業集落排水施設機能診断調査業務	32,340千円

去最大規模となりました。社会保険費などの扶助費や賃金上昇や物価高騰の影響による委託料などの物件費の増、病院事業会計への支援強化が影響しました。さらに、令和7年度に予定していた拠点避難所等への資機材整備などの予算を、令和6年度3月補正予算に前倒して計上。令和7年度の実質的な予算額は、前倒し分と合わせると208億6890万円（前年度対比5・9割増）です。

歳出では、「医」「職」「住」「教育（情報発信）」の5つの分野に予算を重点的に配分。全国で頻発する地震や自然災害等に備え、「防災・減災対策」を強化するとともに▽子ども政策や環境施策の推進▽デジタル技術の活用▽エンターテインメントの解消▽多文化共生社会の実現―等、市民が輝くまちづくりを目指します。

防災・減災対策を強化

令和7年度の当初予算が、市議会3月定例会で可決されました。人口減少や少子高齢化、過疎化などの課題に対応するとともに、市制施行75周年や大阪・関西万博等を契機とした魅力発信など、将来へ夢や希望をつなぐまちづくりを進めます。

令和7年度当初予算

当初予算の規模

一般会計	208億 896万円
特別会計	91億2,721万円
公営企業会計	132億6,220万円
合計	431億9,837万円
令和6年度への前倒し計上分 (公営企業会計含む) 1億876万円	

組織と人事

人事異動で新体制

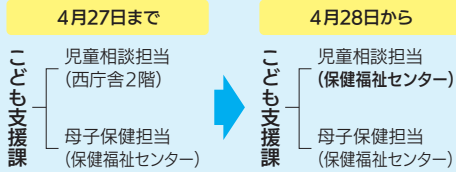
市は4月1日、市役所の組織を一部改編し左表参照するとともに、職員の人事異動を発令しました。新体制(課長級以上)は次のとおりです。太字は新任(異動)。

改編前	改編後	直通電話
財政課 財政担当 行財政改革担当	財政課 財政担当	(42)4216
環境企画課 環境企画担当	環境政策課 ゼロカーボン推進担当 環境管理担当 グリーンセンター担当	(42)1489
環境保全課 管理担当 グリーンセンター担当		(42)1500
都市計画課 衛生公苑担当		(42)4285
都市計画課 都市計画担当	都市建築課 住宅・空家等対策担当 建築担当	(42)4284
建築課 住宅・空家等対策担当 建築担当		(42)4287

※太字が改編対象

※環境政策課の窓口はグリーンセンター内(野田町)

こども家庭センターの窓口を一本化します



※保健福祉センターにある同課発達支援担当の窓口は、5月12日にこども発達支援施設「あいむ」(上野町)へ移転します。

市民環境部 部長 立藤聡▽次長(環境政策課長事務取扱) 白波瀧▽人権啓発推進室長 森本修▽市民・国保課長 浅尾則夫▽同課医療年金担当課長 堀見真美▽市民協働課長 田中恵美▽人権推進課長 白波瀧正彦▽同課男女共同参画推進担当課長 堀見由美

福祉部 部長 松原哲也▽技監(地域包括支援課長事務取扱) 大島けい子▽社会福祉課長 大槻秋夫▽障害者支援課長 荻野聖子▽高齢者支援課長 小松愉紀

健康こども部 部長 四方雅弘▽次長(子育て支援課長事務取扱) 四方麻美▽子育て支援課主幹(物部保育園長事務取扱) 大槻昌代▽こども支援課長 四方和加美▽同課主幹 中田達也▽保健推進課長 芦田正彦▽同課保健推進担当課長 平岡佳子▽同課主幹(医療公社派遣) 表裕紀

農林商工部 部長 大島順彦▽次長(商工労政課長事務取扱) 荻野達徳▽次長(農政課長事務取扱) 小林敏和▽技監(林政課長事務取扱) 小松健

定住交流部 部長 朝子直樹▽次長(定住・地域政策課長事務取扱) 潮見雅敏▽同課水源の里・地域振興担当課長 井上香▽観光

交流課長 出口匡史▽文化・スポーツ振興課長 堀見勲生

建設部 部長 野々垣政明▽次長(都市建築課長事務取扱) 奥村宣幸▽監理課長 菰理忠則▽建設課長 新井栄一

会計課 会計管理者兼会計課長 志賀由佳

消防本部 消防長 堀見幸作▽次長兼消防署長 吉田好弘▽管理課長 佐々木拓也▽予防課長 湊秀明▽警防課長兼消防署副署長 課本秀明▽同課主幹 岸本新吾▽消防署上林出張所長 山崎正吾

上下水道部 部長 小林浩子▽次長(上水道課長事務取扱) 十倉和寿▽技監(下水道課長事務取扱) 仲井涉

議会事務局 局長 三本木紀子▽次長 上田英之

教育委員会事務局 局長 部長 村上哲也▽次長(社会教育課長事務取扱兼図書館長) 立藤江理▽学校教育課長 斉藤さおり▽同課主幹 青木賢次▽八田幼稚園長 松浦宏美▽社会教育課主幹兼資料館長 岡坂敬子▽同課主幹兼天文館長 白波瀧利恵

監査委員事務局 局長 大槻一郎

農業委員会事務局 局長 大島憲一

公正な行政サービスへ 不当要求対策条例を制定

「カスタマーハラスメント」(以下、カスハラ)という言葉をご存じですか。顧客からの不当要求や暴言といった迷惑行為を指し、全国的に社会問題となっています。自治体や企業に対策が求められる中、市は4月1日、「綾部市職員の公正な職務の執行の確保に関する条例」を施行しました。カスハラに対し、組織として毅然とした対応を行います。

要望等には誠実に対応

この条例は、カスハラを防ぐこととで、公平・公正な行政サービスの提供につなげるために制定。行政サービスの不備に対する苦情や指摘のほか、施策の充実や課題の把握につながる意見・要望などには、今後も誠実に対応することを前提としています。

その上で条例では、不当要求行為等を▽特定の個人や団体等に有利または不利な取り扱いを求める▽職員を長時間拘束したり面会を強要したりする▽暴力的行為や社会的常識を逸脱した手段を用いるなどとして定義。何人も職員に対して不当要求行為をしてはならないと明記しています。また、不当

要求行為等があった場合には、職員はこれを拒否しなければならぬと規定。必要に応じて複数人での対応や警察への通報を義務付けているほか、対策委員会を設け組織的に対応すると定めています。

5月から通話内容の録音を開始

市はこれまで、カスハラへの対策として、防犯カメラやサスマタ



名字のみに表記を変更した市職員の名札のサンプル。管理職以上は、役職名も記載します



市役所へ電話をかけたとき「こちらは綾部市役所です。この電話は、サービス向上のため通話を録音しております。あらかじめご了承ください」という音声がかかります

の整備、職員研修の実施などに取り組んできました。条例の施行に合わせて、4月から職員の名札の表記を名字のみに変更。カスハラへの職員対応マニュアルの改定も行いました。

また5月1日から、市役所(一部出先機関除く)の電話の通話録音を開始します。対象となるのは、全ての発信信分です。市役所に電話すると、録音の旨を事前にアナウンス。市からの発信は、アナウンスなく通話録音が始まります。丁寧な電話対応と接遇意識の向上を図ります。ご理解とご協力をお願いします。

条例・職員に関することは職員課(42)4228、通話録音に関することは総務課(42)4218へ。



表彰式に出席した皆さん

令和6年度市文化・スポーツ賞 23人・1団体を表彰

市は3月8日、あやべ・日東精工アリーナ（市民センター、西町三丁目）で、同表彰式を開催。文化やスポーツの分野で優秀な成績を収めた23人と1団体を表彰しました。被表彰者は次の皆さんです（敬称略、順不同、所属は表彰時点）。

文化賞・個人

植原李香（詩歌吟詠景心流六映会）
剣詩舞▽四方清子（同）
▽四方はな（同）
▽小室敦子（吟道大雅流頌風館）
▽大槻重義（絵画▽宮下貫晟（物部小学校1年）
▽山本苑佳（綾部高校3年）
▽同▽長澤一花（同）
朗読

スポーツ賞・個人

上田彩音（綾部高校3年）
ソフトボール▽橘夏実（同校1年）
カヌー▽岡安凜（同校2年）
同▽高島円香（同）
同▽小田朔至（同校3年）
同▽織田凌輔（同）
同▽四方優（同）
同▽梅原大地（福知山成美高校1年）
水泳▽山口紅璃（同校2年）
陸上▽白波瀬由麻（同校3年）
ソフトテニス▽中谷琉晶（綾部中学校3年）
同▽藤原快吏（綾部ジュニアソフトテニスクラブ）
同▽村上桃花（同）
同▽西田悠介（V.C兵庫）
バレーボール▽山本蒼生（同）
同

スポーツ賞・団体

綾部中学校男子ソフトテニス部

まゆピーとお出かけぬいぐるみ誕生！

まゆピーと一緒にのお出かけしませんか。

市はこのほど「まゆピーお出かけぬいぐるみ」を作成しました。高さ約20㍓で、幼児でも簡単に持ち運べるサイズ。販売価格は1個1,980円（税込み）です。500個限定で、青野町のあやべ特産館と駅前通りのあやべ観光案内所で販売中。色々な場所で写真を撮って、まゆピーとすてきな思い出をつくってください！

綾部の魅力を写真でPR

市は、綾部の魅力発信を目的に、フォトブック「Discover Your AYABE」を発行しました。紙面には▽綾部バラ園（青野町）▽綾部ふれあい牧場のヒマワリ（位田町）▽安国寺の紅葉（安国寺町）▽君尾山の雲海（睦寄町）など、綾部の四季折々の花の名所や美しい景色を掲載しています。冊子はA4サイズ、表裏の表紙含めて計16ページのフルカラー。各地区公民館や学校などに配布しているほか、市内外のイベントで活用します。

私たちにできること

- 自分の言葉や行動が、人を傷つけていないか、差別や偏見につながっていないか。「自分のこと」として考えましょう。
- 人権に関する講演会や研修会に積極的に参加し、人権意識の高揚に努めましょう。
- 悩みや不安があるときは、一人で悩まず相談してください。



関係機関と連携し啓発を推進
本市の政策・施策の指針となる、第6次綾部市総合計画。計画の中

シリーズ 人権を考える 人権尊重のまちづくり

で「人権尊重社会の実現」に向けた施策に取り組むこととしています。

市は令和4年4月、綾部市人権尊重のまちづくり条例を施行。本年3月には、第4次綾部市人権教育・啓発推進計画（人権かがやきプラン）を策定するなど、行政・企業・地域・学校などが一体となり、人権尊重を軸としたまちづくりを進めています。こうした中、京都府においても今年1月、府人権尊重の共生社会づくり条例が施行されました。条例は、府民一人ひとりが不当に差別されることなく、かけがえのない個人として相互に人権を尊重し、支え合う共生社会を形成することを目指しています。

近年、複雑化・深刻化している人権課題。市は今後、府とさらなる連携・協働を図り、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域社会の実現に向けて、人権に関する教育や啓発などに取り組みます。

楽しい綾部 善聞語録

石破総理は施政方針演説の中で、「楽しい日本」を目指す」と語った。賛否両論あるが、物価高騰や災害が頻発する現況においては、楽しいよりも明るく安全で不安のない日本を目指すべき、との声も多い。実はこの「楽しい」という言葉は、元通産官僚で作家でもあった故堺屋太一氏が著作『三度目の日本』の中で用いた表現。戦前までの「強い」日本、バブル崩壊までの「豊かな」日本に続いて目指すべきは、個々の多様性が尊重され創造性を発揮できる「楽しい」日本とし、これを現総理も引用したと思われる。

ところで、人が楽しいと思える瞬間とはどんな時だろうか？ スポーツや趣味に没頭している時、想いを寄せる人と気持ちを共有できた時、努力が実り大願成就した時…。人それぞれと思うが、ゴールに到達した瞬間の喜びもさることながら、実は、頑張った努力している過程（プロセス）を楽しむ方が喜びを長く深く感じられるかもしれない。本市の地域交流大使でもある漫才師のてつじ氏が著作『プロセスマニア』の中で同様のコメントをしている。同氏は志賀郷地区の古民家を購入しリノベーションしているが、完成の最終ゴール年はないという。次はどうしようと考えている過程が楽しいとい、建築家ガウディの没後でもバルセロナで延々と建設が続く教会サグラダ・ファミリアにあやかり、自身の古民家を「アヤベダ・ファミリア」と称して憚らない。同氏の姿勢には、前職の金融マンの習いで投資の収益性の追及や時間管理を性癖とする我が身を顧みるばかりだ。

登山家は山の頂上で見える景色よりも、そこに至る道程が楽しいという。ただし、楽しいと楽チンとは異なる。本市の掲げる総合計画のスローガンは「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち。その大前提は、努力すれば報われる正直者が決して馬鹿を見ないことであり、それが、楽しい綾部の実現であることは言うまでもない。

山崎善也（綾部市長）